台湾から連続チャーター便

熊本-台湾・高雄間

約2000人が来熊 定期便就航への"実績"へ

▶連続チャーター便就航記念調印式で。左から五福旅行社の陳世雄副董事長、立会人となった台北駐福岡経済文化弁事処の戎義俊総領事、蒲島知事。（写真・熊本県）

▲台湾から阿蘇くまもと空港に到着した中華航空機（エンブラエル190、104人乗り）

▲県関係者やボランティアらが出迎える中、入国検査を終え、到着ロビーでくまモンと記念撮影に収まる第1便のツアー客。8月23日、午後8時半過ぎ

台湾からの連続チャーター便の第1便が8月23日、ツアー客103人を乗せ阿蘇くまもと空港に到着。同便は10月末まで17往復、計34便が運航し、約2000人が熊本を訪れる予定の大型企画。新4カ年戦略で「アジアとつながる」を掲げる県は、東アジアとの新規航空路線誘致に動いており、今回の連続チャーター便を〝実績〟に、台湾との定期便就航につなげたい意向だ。

昨年は台湾線のチャーター便が6月から8月まで16便運航したが、今回はそれを上回る規模。計38便が運航した昨年の台湾チャーター利用者数は5593人で、全利用者数7756人の約7割を占めている。昨年11月には台湾・高雄市の陳菊市長が熊本を訪れ、蒲島郁夫知事を表敬訪問。今年1月には同知事が台湾を訪れ、政府機関や航空会社にトップセールスを展開、定期便就航に向け熊本をアピールした。

ツアーは台湾の旅行会社6社が4泊5日の日程で組んだ商品で、訪問先には阿蘇や熊本城が組み込まれ、県内では2泊した。ツアー客は台湾でも知名度を上げているという県のPRマスコット、くまモンのお出迎えに大喜びの様子で、記念撮影をリクエストする姿が数多く見受けられた。

県南地域活性化へ「食のベクトル結集」

くまもと県南フードバレー推進協議会発足

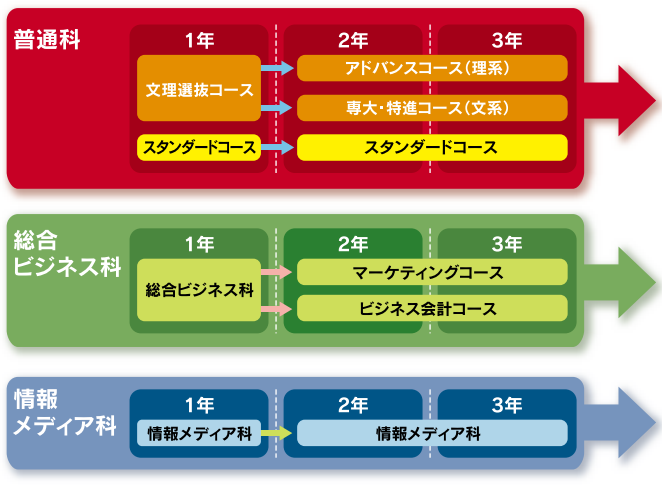
▲農林水産、製造、サービス業の代表の3人が「チャンスに果敢に挑戦し、未来を切り開く」と協議会の発足を宣言した。

熊本県は、県南地域振興の起爆剤と位置付ける「くまもと県南フードバレー推進協議会」をこのほど設立、八代市で設立記念大会を開催した。

同構想は、県南地域（15市町村）の農林水産業者や商工業者をはじめ、JA、商工会、研究機関、行政が連携し「食」に関するネットワークの形成を図るとともに、新商品開発や販路開拓につながるビジネスマッチング・共同研究への支援や人材育成を目指しながら、食品関連産業、研究機関の集積を図ろうというもの。

八代市の八代ホワイトパレスで約450人が参加し設立オープニング式典を行った。

▲約450人が設立記念大会に参加



アドバンスコース（2・3年次）
国公立・私立大学の理系や医・歯・薬学部などの合格のため、きめ細かい受験指導を実施し、一般入試での合格を目指します。部活動の参加も可能です。

専大・特進コース（2・3年次）
国公立・私立大学の文系や高大一貫教育のもと、付属高校推薦入試制度を利用して専修大学への合格を目指します。部活動の参加も可能です。

スタンダードコース（1～3年次）
個性や能力に応じたきめ細やかな指導を実施し、部活動にも参加しながら4年制大学・短期大学・専門学校への進学や就職を目指します。

マーケティングコース（2・3年次）
カリキュラムの中に体験を重視したプログラムを取り入れ、流通・マーケティングの仕組みを体系的に学び、商品やサービスの販売や宣伝に必要な知識や技術を身に付けます。

ビジネス会計コース（2・3年次）
簿記や財務知識を習得し、ビジネス活動の「経理事務」で求められる、高度な会計実務能力を身に付けます。また、日商簿記検定など社会的に評価が高く、就職にも有利な資格・検定の取得を目指します。

コンピュータを中心としてビジネスに関する様々な情報を収集・処理・活用し、オフィスのコンピュータ化に対応できる専門的な知識・技能を身につけ、情報のスペシャリストを目指します。

専大玉名は西日本で唯一の専修大学の付属高校です。

専修大学への進学の道

専修大学・石巻専修大学へは、校長が推薦し、入学が許可されます。

『知』の輪を広げる
専修大学玉名高等学校
〒869-0293　熊本県玉名市岱明町野口1046
TEL0968-72-4151　FAX0968-73-5688
E-mai:tamana@senshu.ac.jp　http://www.senshu.ac.jp